
とある少年の憂鬱

アザゼル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とある少年の憂鬱

【Nコード】

N6359E

【作者名】

アザゼル

【あらすじ】

とある学校のとある生徒の休み時間に起きたちよつと不思議な恋愛のお話です

（前書き）

少しB Lが入っています

少しなので大丈夫だと思うのですが苦手な方は戻ることをおすすめします

ここはとある高校のとある休み時間の話だ。
つまらないかも知れないがしばらく聞いてほしい
というより出来れば俺を助けてほしい

俺は休み時間を教室で過ごすのがバカらしいと思い、いつものようにあいつと共に廊下に出た。

別に廊下に出たからといって何が変わるわけではないのだけどな…

「付き合ってもらえない??」

と窓から景色を眺めていた俺にあいつは唐突にそう喋り掛けた

「ん?? 昼飯買い忘れたのか??」

だったらあとで食堂で……ん?? どうかしたか??」

なぜか悲しそうな顔をするあいつ……俺、なにかしたかな……

「やっぱり…そうだよね…」

今にも泣き出しそうな顔…

「どうした??

俺、何か悪いことしたか??」

「いや、別に何でもないから……」

と笑顔でいうあいつだが俺は知ってる

これは泣くことや嘘を誤魔化してる時の笑顔だ。

「嘘はやめろよ

何に付き合ってたほしかったんだ??

お前の相談ならいつでも乗るからさ

言ってみろよ」

俺は強引に肩を掴み顔を覗き込みながら聞いてみた

「……………恋人として付き合ってたほしかったんだよ」

頬を赤く染めながら言うあいつなのだが…

……………えっ…今、なんて??

「……………だってお前、男だろ?」

そう残念ながら頬を赤らめて上目遣いで告白してくれている相手は男だ……

「良く考え直せよ俺も男だしお前も男だぞ」

そう気付いてくれ……てか頼む、気付け

「僕は全然構わないよ……むしろ君のためだったら……」

更に顔を真っ赤にしながらボソボソと呟くあいつ……
ダメだドンドン断りづらくなってる気が…

「やっぱりダメかな??」

とうるつると潤んだ瞳に上目遣いのあいつ……か…可愛い

「あの…その…いやではないんだけど…でも…俺は…」

いつの間にか汗がだらだらと頬を流れていた
ヤバい泥沼だ

…それはお前、いくら身長150台で髪が綺麗で長くて、顔も男なのにこの学校の中で1、2位を争うくらい可愛いし、実は俺のタイプだったりするし……って何言ってるんだよ俺は

相手は男だぞ お・と・こ

そつだ、残念ながら俺にはそんな特殊な趣味なんかは持ち合わせて

ない……はずだ

「それで……出来れば……答えを教えてほしいんだけど……」

「あつ……あゝ……そ……そうだよな……」

とまあとてつもない状況に置かれている俺

周りからは

「キヤー」とか

「禁断の愛よ」とか好き勝手言いながら頬を赤くする女子やうんうんと何故か納得する男子……

はあゝ、どうすれば良いんだ俺は……

だれかこの問題に的確なアドレスをください

お願いします……

（後書き）

友達と「B Lってどんなんだろうな」とか話して書いてみた作品です…

えっ全然B Lじゃないって？

残念ながら私はB L知りません…すみません

では今回はこの辺で次回の作品でお会いしましょう

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6359e/>

とある少年の憂鬱

2010年10月10日22時55分発行